

令和2年度 第3回

印西市総合教育会議 会議録

令和3年3月22日（月）

令和2年度 第3回 印西市総合教育会議 会議録

日時：3月22日(月)・午後1時10分～

場所：印西市役所会議棟204会議室

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 議題
(1)印西市教育大綱の策定について
4. その他
5. 閉会

出席構成員(6名)

- 1 印西市長 板倉 正直
- 2 印西市教育委員会 教育長 大木 弘
- 3 印西市教育委員会 委員 大野 忠寄
- 4 印西市教育委員会 委員 寺田 充良
- 5 印西市教育委員会 委員 鈴木 裕枝
- 6 印西市教育委員会 委員 栃尾 知子

欠席構成員 なし

設置要綱第9条に基づく職員(4名)

- 企画財政部長 小林 正博
企画財政部企画政策課長 高平 光重
企画財政部企画政策課政策推進係長 櫻井 治
企画財政部企画政策課政策推進係主査 大野 亮一

設置要綱第10条に基づく職員(3名)

- 教育委員会教育部長 高橋 清
教育委員会教育部教育総務課課長補佐 平川 幸弘
教育委員会教育部教育総務課総務係長 五代 敦子

(午後1時10分)

企画政策課長
(進行)

本日はお忙しい中、総合教育会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。

開会に先立ちまして、まず、資料の御確認をお願いいたします。

本日の資料は、会議次第、資料No. 1-1 印西市教育大綱(案) 市民意見公募手続の結果、資料No. 1-2 印西市教育大綱(案) について、以上でございます。

なお、本日、参考資料といたしまして、机上に「印西市総合計画こども版」を配付させていただきました。

不足などございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」との声)

企画政策課長
(進行)

それでは、次に報告等が2点ございます。

まず、1点目でございますが、会議は規程により公開とさせていただきます。

本日の傍聴者は、1名でございます。

次に2点目でございますが、会議録署名と会議の録音でございます。会議録の署名につきましては、教育委員のみなさまに、名簿順、輪番で御署名していただくことになっております。

本会議は、大野委員をお願いいたします。

(「はい」との声)

企画政策課長
(進行)

よろしくをお願いいたします。

また、会議録につきましては、全文筆記にて作成しますことから、会議は録音させていただきますので御了承願います。

報告は以上でございます。

それでは、ただ今から、令和2年度第3回印西市総合教育会議を開会いたします。

はじめに、板倉市長から御挨拶を申し上げます。

(「はい」との声)

板倉市長

みなさん、こんにちは

(「こんにちは」との声)

板倉市長

本日は、年度末のお忙しい中、お集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。

第3回印西市総合教育会議の開催に当たりまして、一言御挨拶を申し上げさせていただきます。

教育委員のみなさま方には日頃より、市の教育行政に御尽力を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、1月に発出をされた緊急事態宣言が解除されましたが、教育委員のみなさまをはじめ、教育関係者のみなさまにおかれましても、感染症の拡大防止に御協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

しかしながら、依然として新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されておりますことから、引き続き、感染予防対策の徹底を御指導をお願いしたいと考えております。

さて、本日の議題でございます印西市教育大綱につきましては、教育委員のみなさまから御意見をいただき、次期、印西市総合計画との整合を図り、大綱(案)をまとめておりますので、みなさま、どうぞよろしくお願いをいたします。

企画政策課長
(進行)

ありがとうございました。

それでは、会議に入ります。

印西市総合教育会議設置要綱第4条の規定によりまして、会議の議長は、板倉市長をお願いいたします。

よろしくお願いをいたします。

(「はい」との声)

板倉市長
(議長)

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。まず、議題(1)印西市教育大綱の策定について、事務局より説明をお願いします。

(「はい」との声)

板倉市長
(議長)

はい、事務局

企画政策課
政策推進係長

議題の(1)印西市教育大綱の策定について、御説明させていただきます。

座って説明させていただきます。

板倉市長
(議長)

どうぞ

企画政策課
政策推進係長

それでは、資料1-1 市民意見公募手続パブリックコメントの結果を御覧ください。

パブリックコメントの実施といたしましては、教育大綱の策定過程において、市民に広く情報提供し、市民が意見又は提案を述べるができる機会を確保することにより、市民の市政への積極的な参加を推進することを目的として、意見等の募集期間を令和3年1月15日から2月4日までの3週間の期間として実施いたしました。

結果といたしましては、1名の方からいただき、意見の提出としましては、3件となりました。

意見の取り扱いの内容としましては、案を修正するもの1件、案には反映できないが、今後の参考とするもの1件、案には反映できないが、意見として伺ったもの1件となっております。

裏面をお願いいたします。

いただきました御意見でございますが、「表紙の「令和3年〇月」について、表4の「奥付」の記載とともに「発行年月」を明示すべきである。」といただきました。

本意見に関する意見の取扱いとして、「その他」「修正」としまして、1つ目は、表紙の発刊年月、こちらは、「パブコメの時点では、大綱案の表紙下段の策定月に未記載でございまして、印西市教育大綱の決定により、策定した月を記載する予定でございましたことから、1月のパブリックコメントの公表時点では〇月と表示をしておりましたが、最終的に策定月を表示し、公表する。」とさせていただきます。

次に、奥付につきましては、「新たに表示をし、策定月を記載いたします。」として、本日の教育大綱の案につきましては、表示をさせていただいております。

次に、大綱の基本目標について、「2行目「現在の少子化傾向は～」とあるが、加えて『令和2年度での「新型コロナウイルス感染症」の影響による更なる少子化』及び『SDGs』『35人学級』にも言及すべき」といただきました。

この2つ目の項目の御意見についてでございますが、教育大綱(案)のこの部分につきましては、印西市総合計画の基本構想と整合を図りまして、これまで検討を進めてきた内容ということからですね、参考の御意見とさせていただきます。

以上が、パブリックコメントの結果となります。

次に、資料1－2でございます。

印西市教育大綱（案）をお願いいたします。

表紙をめくっていただきまして、1ページ目をお願いいたします。

こちら「はじめに」としまして、教育大綱の策定に当たりましての市長の挨拶を掲載しております。

2ページ目をお願いいたします。

まず、教育大綱の「策定の趣旨」でございます。

前回から、細かな字句の修正はしておりますが、趣旨の内容が変わるような修正はしておりませんが、内容といたしましては、「平成27年4月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、地方公共団体の長は、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされました。印西市においては、平成28年3月に印西市教育大綱を策定し、市の目指すべき教育目標の実現に向け取り組んでまいりましたが、この間も少子高齢化、技術革新、グローバル化の進展、新型コロナウイルス感染症の影響など社会を取り巻く環境は変わり、また、現行の大綱の期間についても令和2年度に満了を迎えることから、市の最上位計画である、印西市総合計画と整合性を図り、市の教育における目標や施策の根本となる方針を策定したものです。」とさせていただいております。

次に、教育大綱の位置付けでございます。

大綱は、印西市総合計画基本構想及び基本計画を最上位計画として、その目標の達成に向け、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について定めているものです。

次に、大綱の期間でございます。

こちらの期間につきましては、前回の会議からの変更はございませんが、

印西市総合計画の第一次基本計画との整合を図り、令和3年度から令和7年度までとしています。

次に3ページをお願いいたします。

教育大綱の基本目標でございます。

こちらは、次期総合計画の基本構想において定めた、「子育て、教育、文化」に係る政策の大綱「子どもたちの未来を育み誰もが心に豊かさをもたらすまちをつくります」を教育大綱における基本目標としております。

下段については、目標の内容を記載しております。

次に、大綱の基本方針でございます。

基本目標を実現するための4つの基本方針を示しております。

こちらの内容も、総合計画の基本計画と同内容としており、目標の下段に基本目標への取組の方向性を記載しております。

1つ目の基本方針は、【学校教育の充実】としまして、「知・徳・体の調和のとれた教育を推進し、生きる力を持ち未来を拓く子どもを育むまちを目指します。」としております。

取組の方向性としては、「変化の激しい社会を生き抜くために必要な生きる力の育成に向け、学ぶ力・豊かな心・健やかな体をバランスよく育むとともに、自らの能力を引き出し、習得したことを活用して、様々な課題に対し主体的に解決できる児童生徒の育成に努めます。」としております。

次に4ページをお願いいたします。

2つ目の基本方針は、「教育環境の整備・充実」としまして、「子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるように、教育環境が充実したまちを目指します。」としております。

取組の方向性としては、「児童生徒数が増加する本市において、子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設や教育環境を継続的に整えます。また、現在の情報化社会に対応するため、情報活用能力の向上の取組を充実させます。」としております。

3つ目の基本方針は、「歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興」としまして、「市民が様々な文化や芸術に触れることができるとともに、先人の残した文化遺産の価値や意義を次世代に適切に継承するまちを目指します。」としております。

取組の方向性としては、「市民の豊かな心や地域に対する関心の醸成を図るため、自主的な文化・芸術活動を積極的に支援します。また、市民が様々な文化や芸術に触れることができる取組を進めます。さらに、本市の歴史や文化財は、先人の残した文化遺産であり、その価値や意義を踏まえ、次世代に適切に継承していくため、市民の郷土意識の涵養を図り、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財、地域史料の保護や保存及び活用を進めていきます。」としております。

4つ目の基本方針でございます。「生涯学習の推進と青少年の健全育成」としまして、「市民が生涯を通して学ぶことができるとともに、地域で子どもたちを守り育てるまちを目指します。」としております。

取組の方向性としては、「子どもから高齢者まで市民一

人ひとりが自ら学び、生きがいや自己実現などにつながる生涯を通して学習ができる環境づくりを進めます。また、生涯学習活動を通じて、地域への愛着を生み、地域づくりのための社会参加を促すとともに学習成果を地域に還元できるような支援を行います。あわせて、活動の場としての生涯学習施設の整備を推進します。さらに、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育み、子どもたちが安全・安心で健やかに成長できるよう、学校・家庭・地域の連携を図り、青少年の健全な育成に向けた活動を推進していきます。」としております。

最後に資料の裏面で、奥付としまして策定年月等の表示を今回から掲載いたしました。

最後に、これまで教育大綱の策定に当たりましては、策定基本方針に基づき、総合計画と整合を図り作成したものでなっております。

なお、教育大綱の策定に関しましては、本日が最終調整となっておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

説明は、以上でございます。

板倉市長
(議長)

説明が終わりました。

議題(1)について、何か御意見、御質問等がありましたらお願いをいたします。

(「はい」との声)

板倉市長
(議長)

大野委員

大野委員

3ページにございます大綱の基本目標、その中にですね、出生数の問題が、これまで統計をとってきた中でも90万人を割るような現状のようですが、印西市における出生数、全国の割合と比較して、どのような状況になっているのかが1つと、それから、また、今後、少子化対策に対する取組、印西市は、どのように行うのか、お聞かせ願いたいと思います。よろしくお願ひします。

板倉市長
(議長)

はい、事務局、どうぞ

企画政策課長

それでは、お答えいたします。

御質問の出生数の比較でございますが、女性がお一人、生涯

に何人の子どもを御出産されるかという数字がございまして、こちらを推計しまして、合計特殊出生率という数字がございまして、こちらでお答えさせていただきますと、令和2年1月1日現在でございます。

こちらの数字で、全国の数字が1.36でございます。千葉県が1.28でございます。印西市でございますが、1.41となっております。県内では高い数値ということになっております。

今後でございますが、印西市総合計画の中のまち・ひと・しごと創生総合戦略という部分がございまして、こちらの中で合計特殊出生率を令和7年、5年後に1.70とする目標を設定しております。具体的な施策といたしましては、結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくりという形でございまして、妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援などの施策を掲げておりまして、子ども医療費助成事業であるとか、特定不妊治療費助成事業ですとか、各種の事業に取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

大野委員

はい、分かりました。よい環境を整えていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

板倉市長
(議長)

ほかに御質問等ございますか。

(「はい」との声)

板倉市長
(議長)

寺田委員

寺田委員

4ページですね、教育環境の整備・充実についてですけれども、学校施設や教育環境を継続的に整えますとありますが、全国の学生に1人1台のタブレットを入手することができまして、ICT教育が進んでいると思いますが、市の財政に関係するので、財政課にお願いしたいのですが、出来れば各教室に大型ビジョンの配置が必要不可欠だと思われまして。印西市が全国に先駆け、日本のシリコンバレーと言われる市になるよう、ふさわしい学校にしたいと思っておりますので、その辺よろしく願いします。

板倉市長
(議長) はい、事務局

企画政策課長 御意見ありがとうございます。お答えいたします。
御意見にございましたとおり、令和元年度の総合教育会議におきまして、パソコン整備に関しましての御意見いただきまして、その後、子どもたちが各自の教育用端末を活用できる環境を整えていきますGIGAスクール構想が新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴いまして、加速しているところでございまして、今年度、児童生徒分のパソコン整備が完了していることと考えております。

今後でございますが、事業に対しまして、国からの新型コロナウイルスの感染症対応地方創生臨時交付金の一部も事業に充当させていただいたところでございます。

また、授業を円滑に進めるために、パソコン画面などの映像等を大画面で写す大型テレビ、こちらのほうの整備も、順次、開始していると伺っておりますので、教育大綱案にもございますとおり、子どもたちの教育環境の向上、充実を目指しまして、教育委員会と連携して、これからもやっていきたいと考えております。

以上でございます。

寺田委員 よろしく申し上げます。ありがとうございました。

板倉市長
(議長) ほかに御質問等ございますか。

(「はい」との声)

板倉市長
(議長) 鈴木委員

鈴木委員 私の方からは、4ページですね、教育環境の整備・充実とこちらの取組の方向性の表現なのですけれども、1つ意見を出させていただきます。

「児童生徒が増加する本市において」という文章の表現に目が留まりました。

本市はですね、この表現では言葉が足りないような気がします。全体数で見れば増加しているのは間違いではないのですが、実際には、急激に増加している地域と減少している

地域とが混在しているのが当市の特徴であり、それに伴って、児童生徒の人口の地域格差が生じているというのが実態であります。その現状を踏まえた上で、そういった内容を反映させた文章、つまり全ての地域の児童生徒が安全で安心できる教育環境の整備・充実に努めるという方針が示されることが適切ではないかなと考えました。これはあくまでも言葉の表現についての指摘ですが、参考として意見を述べさせていただきました。

板倉市長
(議長) はい、事務局、どうぞ

企画政策課長 お答えいたします。
御意見ありがとうございます。
委員の御意見にございましたとおり、現状の市内人口動態の傾向をみますと、住宅開発により、児童生徒数が増加している地域と、また一方、減少している地域とあることは、われわれも承知しております。

そのような市の実情の中、市全体といたしましては、増加傾向が減少傾向を上回るという状況を想定しまして、計画期間内にここ数年間は増加していくことが考えられることから、市全体として増加していくと表記したものでございます。

市といたしましては、市域の全ての児童生徒に対しまして、教育環境の整備・充実に継続的に学校施設や教育環境を教育委員会と連携しつつ整えまして、子どもたちが健やかに成長でき、教育環境が充実したまちを目指していきたいという内容でございます。御意見ありがとうございます。

また、教育環境の整備・充実に關しましては、印西市総合計画の方の基本計画の中に、委員御指摘のあったような地域性のことも表記してございますので、後程お持ちいたしますので、御確認いただければと思います。

鈴木委員 分かりました。

板倉市長
(議長) ほかに御質問等ございますか。

(「はい」との声)

板倉市長 栃尾委員

(議長)

栃尾委員

私からは感想と1つ意見を述べさせていただきたいと思えます。

私の方は、ちょっとこの大綱のデザインについて発言させていただきたいのですけれども、とても素敵なデザインにしてくださったなあと思い、ありがたいなと思いました。ありがとうございます。

3、4ページを開くと、大綱の基本目標や基本方針など、大切な部分が目立つように、かつ、心をなごますような色合いにさせていただいていて、これを手に取って見てくださる方の読みやすさを考えてですね、作ってくださったのではないかなあというふうに思いました。

ひとつ気になるのが、ページ端にある青色の縦線の主張がとても強いなというように私の感覚では思ったのですけれども、もう少し控えめな色、薄さにするか、線をもう少し細くするか、若しくは外してしまったほうが、表紙のお花のデザインでしたりとか、ページの中の大切な部分がより際だって見えて、より良くなるのではないかなあというふうに思ったのですけれども、いかがでしょうか。

板倉市長
(議長)

はい、事務局、どうぞ

企画政策課長

御意見ありがとうございます。

御指摘にございましたとおり、見やすさは非常に重要なものでございます。

この線でございますが、際立てようとした試みだったのですが、ちょっとやりすぎたかなというところでございますので、これは削除させていただきたいと考えております。以上でございます。ありがとうございました。

板倉市長
(議長)

ほかに御質問等ございますか。

(「はい、よろしく申し上げます。」との声)

板倉市長
(議長)

寺田委員、どうぞ

寺田委員

すいません。ちょっと余談になりますが、教育部長にお願いというかお話聞いていただきたいのですが、今、英語教育について、世間では同時通訳機が非常に開発されていますので、国際語の同時通訳が簡単になってきています。そこで、小学校において、しっかりと日本語、母国語を習得することが何よりも肝心だと思います。英語教育もいいのですが、まず日本語をしっかり教育する指導をお願いしたいと思います。

もう一つですが、ICTを利用してスマホが非常に子どもたち持っていますけれども、ゲームに熱中して勉強が疎かになるというのが、この頃聞く話ですので、その辺の指導もお願いいたします。

それからもう一つ、社会的に今非常にオレオレ詐欺などの振り込み詐欺が代表されるように悪用されていることが多いです。これは今後、道德教育の充実を図って、そういうことがしない子どもに成長できるようなことを強力に指導してもらいたいと思います。よろしく申し上げます。

板倉市長
(議長)

はい、事務局、どうぞ

教育部長

今の寺田委員の方からありました御指摘等々については、教育委員会内部、児童生徒の部分で、指導等に生かしていきたいと思います。以上でございます。

寺田委員

よろしく申し上げます。以上です。

板倉市長
(議長)

ほかにありますか。

それでは、質問等ないようですので、議題の(1)印西市教育大綱の策定については、以上とさせていただきます。

最後に私から、教育大綱の策定に当たり、一言、申し上げます。

教育委員のみなさまにおかれましては、教育大綱の策定に当たり、多大なる御協力をいただきありがとうございました。

おかげをもちまして、総合計画と整合を図りました、教育大綱をまとめることができました。

次年度以降につきましても、教育委員会との連携を図り、未来を担う子どもたちのため、また、市民のみなさまが心に豊かさを持ち、住みよさを実感できるまちを目指し、各種施策、事業に取り組みたいと考えておるところでございますことか

ら、引き続き、教育委員のみなさまには御尽力を賜りますよう、どうぞ、よろしく願いをいたします。

それでは、本日の議事は終了いたしましたので、進行を事務局に戻します。

企画政策課長
(進行)

ありがとうございました。

それでは、次第4のその他でございますが、委員のみなさまから何かございますでしょうか。

それでは事務局から1点、御連絡をさせていただきます。

市長のお話にもございましたが、令和3年度からの次期総合計画を決定しております。

教育大綱の検討に併せ、これまで御協力いただきまして、誠にありがとうございました。

本日は、次年度、令和3年度に小学生を対象に配付を予定しております総合計画のこども版を机上に配付させていただきました。

児童のみなさまへの配付につきましても、教育委員会の御協力を賜りますので、引き続き、よろしく願いいたします。

なお、総合計画本編につきましては、後程、教育委員事務局にお持ちいたしますので、御査収ください。

以上で、令和2年度第3回印西市総合教育会議を閉会いたします。お疲れ様でございました。ありがとうございました。

(午後1時35分)

印西市総合教育会議設置要綱第8条の規定により、上記会議録は、事実と相違ないことをここに承認する。

令和3年4月14日 印西市教育委員会 委員 大野 忠 寄